

新鋭機器の使い勝手

ハイビジョン放送，地上デジタル化で美しい映像や様々なデータサービスが楽しめるようになった。携帯電話もワンセグなどの機能が付加され，ハイテクノロジーによる情報流通の拡大，迅速性・利便性の向上を身近なところで実感できる。これらの新鋭機器が多機能化，高度化するに伴い，ユーザー側にとっては便利さが増す一方で操作が複雑になるのは避けられない。操作用の解説書，マニュアルの役割が一層重要になりその厚みが増えて，完璧に使いこなすには結構な時間と努力が必要となっている。

高画質のTV録画を楽しもうと2年余りにハイビジョンレコーダーを買い入れた。画面に映るメニューで簡単に操作できる多くの機能があり，誠に便利なものである。また大容量で機器本体に相当の録画を保存でき，好きな時に直ちに再生できる機動性に感心した。操作解説書は相当に分厚いものであるが，項目を見ると素人にも分かりやすく体系的に整理されている様である。解説書が大部であっても読破できるユーザーが多いと思うが，私の場合は高度なメカニカルなものへの苦手意識があることもあり，その中の録画に必要な箇所のみを読んだに過ぎなかった。

しかし，ある機器に頼ることになる以上は，その解説書，マニュアルによって機器総体の働きや仕組みをしっかりと理解しておくことが大切だと反省させられる出来事があった。数ヶ月前に突然レコーダーの録画機能が言うことを聞いてくれなくなったのである。改めて操作解説書をめくると故障の際の表示と操作方法が多くのケースごとに整理されている。さすがに現代のハイテク機器はあらゆる緊急事態を想定しているのだ，とまたまた感心しつつ調整を試みたが，どうしても動いてくれない。仕方ないので顧客サービスセンターに電話し，先方の指示であれこれ操作したものの埒が明かず，結局数日後に修理担当の人が我が家まで出向いてくれることになった。

「キバン」から替えなくては，と修理の人に言われ，要は機器の最も基礎的な

部分の入れ替えが必要なこと、その際にレコーダー本体の貯めこんだ録画は消失すること(ダビングすれば更に何日もかかる。)とわかって愕然とした。原因は自分の機器の扱い方が悪かったのか、こういうケースはよくあるのかと尋ねたところ、機器自体の問題で、稀な故障との答であった。結局今回は修理の早期終了を優先したため、残念ながら大事な録画を消失させざるを得なかった。

一つの機器のために結構な手間暇をかけて貴重な経験ができたが、ハイテクに慣れ親しむのも大変だと嘆きながら色々と考えさせられた。期待の新鋭機器が、機能統合によりその本体で高画質かつ大容量の録画ができるという斬新な魅力を有する一方、本体と録画がいわば運命共同体であることによるリスクも併せ持つようになるという盲点が生じていたのだ。従来型のビデオやDVDレコーダーであれば本体とは別に録画を保存しているため機器本体の故障が直ちに録画に及ぶ訳ではなく、大切な録画を消失することもないのである。

次から次へと出てくる新鋭機種は確かに魅力的ではあるが、高度化のあまりせつかくの有益で多様な働きを持っている機器を十分に使いこなせないとなれば、本人にとっては正直なところ口惜しい思いもするし、社会的にはある意味で資源の無駄遣いにもつながりかねない。近年、携帯電話でも通話機能という最も基本的なものを主体とした機種が出ており、付加価値の追求だけでなくシンプル性にも重きが置かれ始めている。複雑化する新鋭機種に加え、薄手の解説書で足りる簡便な機種が見直されつつあるといえる。統合・システム化による総体としての効率性を重視するか、個々の役割・機能を生かした活力発揮や危険分散を望むか、との重要で難しい命題にも通じる気がするが、いずれにしても両者のバランスをどう見るかということであろう。

レコーダー故障による録画消失回避策は、大事なものはダビング機能を活用して早期に他のDVDに移しておくということであった。レコードやVHS、CDの時代にはこれらを収集整理して楽しんでいただけたものだが、こういったかつてのゆとりある趣味的活動を思い起こし、まめなDVD保存を心がけている。

((株)農林中金総合研究所 顧問 小林芳雄・こばやしよしお)